



ソーシャルボンド 概要とインパクト・レポート

目次

IFC ソーシャルボンドの概要	3
背景	3
仕組みとプロセス	4
A. 調達資金の使途	4
B. プロジェクトの選定.....	5
C. 調達資金の管理	6
D. 報告	7
インクルーシブ・ビジネス・ボンドの概要	8
インクルーシブ・ビジネスの概要	8
インクルーシブ・ビジネス・ボンド発行プログラム（2015～2016 年度）	10
インクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金の使途に関する報告	11
インクルーシブ・ビジネス・ボンドのプロジェクト概要	14
女性起業家支援のための債券の概要.....	18
女性起業家支援プログラムの概要	18
女性起業家支援のための債券発行プログラム（2014～2016 年度）	19
女性起業家支援のための債券による調達資金の使途に関する報告	20
女性起業家支援のための債券のプロジェクト概要.....	22
免責条項	25

IFC ソーシャルボンドの概要

2016 年、国際連合は持続可能な開発目標（SDGs）を提示し、これによって世界の国々が一体となって貧困を終わらせ、不平等を是正し、気候変動対策を進める取り組みが始まりました。SDGs では、これから乗り越えなければならない計り知れない困難や、持続可能な開発のあらゆる側面の相互関連性が認識されており、目標としてさまざまな問題に対処するための世界的な取り組みが掲げられています。同時に、社会的課題に対応するプロジェクトの資金調達を目的とする債券市場が登場し、環境・社会・ガバナンス（ESG）基準を投資判断として新たに取り入れる投資家数の増加に支えられ深化しています。

「私達は、持続可能な開発に対する大きな課題に直面しています。依然として数十億人の人々が貧困のうちに生活し、尊厳のある生活を送れずにいます。国内的、国際的な不平等は増加しています。機会、富及び権力の不均衡は甚だしく、ジェンダー不平等は依然として鍵となる課題です。失業、とりわけ若年層の失業は主たる懸念です。地球規模の健康の脅威、より頻繁かつ甚大な自然災害、悪化する紛争、暴力的過激主義、テロリズムと関連する人道危機及び人々の強制的な移動は、過去数十年の開発の進展の多くを後戻りさせる恐れがあります。」

～国際連合 持続可能な開発のための
2030 アジェンダ

こうした状況において、IFC は社会的責任投資分野における既存の2つの債券プログラムを統合し、単一の新規プログラムとして立ち上げました。すでに開始している 2017 年度から、IFC の**女性起業家支援のための債券（BOW）とインクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラム**は IFC ソーシャルボンド・プログラムに統合されます。IFC は新しいソーシャルボンド・プログラムを通じて、私募発行やリテール向けの発行に加え、より流動性の高いベンチマーク規模のソーシャルボンドの起債が可能となり、新興市場の女性起業家や低所得層の融資へのアクセス等、特定の人々を対象とした社会的課題に取り組む IFC プロジェクトを投資家が支援する機会を拡げます。本レポートでは、ソーシャルボンド・プログラムの仕組みの概要とその元となっている2つの債券プログラムによって期待される開発インパクトについて説明します。

背景

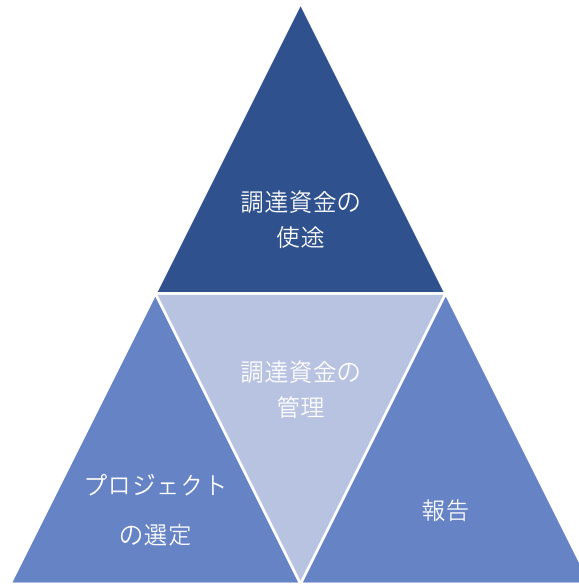
IFC は、2013 年に新興市場の女性起業家の機会創出に焦点を当てた初の債券プログラムとなる **BOW 債券プログラム**を立ち上げ、テーマ債商品のメニューを広げました。BOW 債券は 2013 年と 2014 年に発行され、2 億 6,800 万米ドルを調達し、現在までに 16 件のプロジェクトを支援してきました。これに続き、2014 年 10 月に**インクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラム**を立ち上げ、テーマ債商品に追加しました。本プログラムは、バリューチェーンに低所得層を組み込む企業の支援に特化した債券を初めて提供するものです。インクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラムの下、5 回の起債で 2 億 9,610 万米ドルを調達し、現在までに 13 件のプロジェクトを支援してきました。BOW とインクルーシブ・ビジネス・ボンドは、機関投資家と個人投資家を対象に販売されました。

BOW 及びインクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラムの期待インパクト※1	ベースライン	目標値
支援を受けた農家の数	55,500	122,500
通信回線が敷設された顧客数	27.1 百万	49.81 百万
治療を受けた患者数/教育を受けた学生数	34,073	5,103,500
マイクロ・ローン残高	418,455	663,785
女性が経営する中小企業に対する融資残高	61,455	109,798

※1 期待される開発インパクトはプロジェクトへのコミットメントに先立ち計算されます。資金支援を受けたプロジェクトの詳細と産業別の期限目標に関してはプロジェクト概要のページをご参照ください。

仕組みとプロセス

新しく立ち上げられるソーシャルボンド・プログラムは、グリーンボンド原則（GBP）の事務局である国際資本市場協会（ICMA）が 2016 年に発表したソーシャルボンド・ガイドラインに沿っており、GBP の主要 4 原則（調達資金の使途、プロジェクトの評価と選定プロセス、調達資金の管理、報告）を組み込んでいます。詳細については ICMA のウェブサイト www.icmagroup.org/socialbonds をご参照ください。



A. 調達資金の使途

ソーシャルボンド発行による正味調達資金は、ソーシャルボンド適格プロジェクトを支援するために割り当てられます。適格プロジェクトとは、以下のいずれかの形で IFC が部分的または全面的に資金供与するプロジェクトのことです。

- 1) 金融仲介機関への融資。ただし、IFC の融資による調達資金の使途は、女性が経営する企業^{※2}へのオン・レンディング（転貸）が要件。または、
- 2) 「経済ピラミッドの下層部（BOP 層）」（定義：1 日あたりの所得が 8 ドル相当未満^{※3}または生活必需品やサービスへの十分なアクセスを持たない人々）をサプライヤー、流通業者、または消費者と位置づけ、自社の主力事業の一部としてバリューチェーンに組み込んだ企業への融資。ただし、その事業モデルがビジネスとして成立し、規模の拡大が可能であることが要件。

適格プロジェクトの例としては、次のものが挙げられます^{※4}。

- 小規模農家から直接供給を受ける企業への投資
- 低所得世帯が利用しやすい電力、ガス、水道等の生活インフラ企業への投資
- 低所得層が利用しやすい保健医療・教育サービスまたは住宅を提供する企業への投資
- 低所得層向けの商品やサービスを提供する企業への投資
- 低所得層を含む市場における通信や決済手段を提供する企業への投資

^{※2} 期待される開発インパクトはプロジェクトへのコミットメントに先立ち計算されます。資金支援を受けたプロジェクトの詳細と産業別の期限目標に関してはプロジェクト概要のページをご参照ください。

女性（単独または複数）が保有し、少なくとも 1 つの上級経営幹部職（最高経営責任者、最高執行責任者、会長、副会長等）に女性が就いており、かつ取締役会設置会社においては議席の 30% 以上を女性が占めている企業。

^{※3} 1 日当たりの所得 8 ドルの基準値は購買力平価（PPP）で換算したものです。PPP 換算は、異なる国の相対的購買力が均等化するよう実質値を調整するものです。

^{※4} 上記の適格プロジェクトはあくまでも例として示しているものであり、債券の残存期間を通じて、これらの条件を満たすプロジェクトであっても IFC による融資を何ら保証するものではありません。

B. プロジェクトの選定

先述のソーシャルボンド適格プロジェクトは、精査された IFC の融資ポートフォリオから選定されます（エクイティ投資及び保証はソーシャルボンドの資金供与対象外）。適格プロジェクトは IFC の投資プロセスに従い、IFC の持続可能性枠組みに準拠して実施されています。IFC の持続可能性枠組みには、パフォーマンス基準、世界銀行グループの環境・衛生・安全（EHS）ガイドライン、IFC のコーポレートガバナンス枠組み、IFC の情報アクセスに関する方針（AIP）に基づく公開要件等が含まれます。いずれのプロジェクトも厳格な ESG デューデリジェンスの手続きを経ており、継続的なモニタリング及び監督対象となります。

特に、IFC の環境社会配慮に関するパフォーマンス基準では、IFC の顧客が環境や社会に与えるリスクに関する顧客自身の管理責任に加え、IFC による融資全期間を通じて顧客が遵守すべき以下の 8 分野に関する基準を定めています。

- 環境・社会的リスク及びその影響の評価・管理
- 労働及び労働環境
- 資源効率性及び公害防止
- 地域社会の保健、安全及び保障
- 土地の取得及び非自発的住民移転
- 生物天然資源の生物多様性維持及び持続可能な管理
- 先住民
- 文化的遺産

C. 調達資金の管理

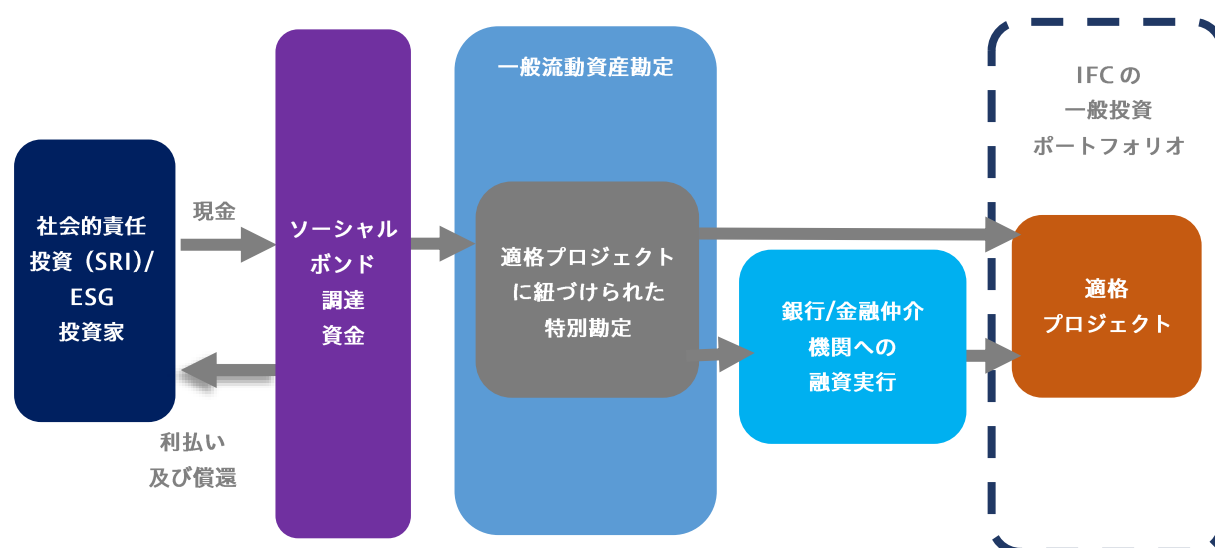
ソーシャルボンドによる正味調達資金は、IFC の財務勘定内で適格プロジェクトへの融資業務に紐づけられた特別勘定に移され、IFC の流動資産管理・運用ガイドラインに従い、財務部門が特別勘定を運用します。債券の発行残高がある限り、特別勘定残高から適格プロジェクトへの融資実行額と同額が減額されます。

IFC はスタンダード&プアーズ及びムーディーズの格付けで、トリプル A を取得しています。ソーシャルボンドの元利金の支払いは厳格に IFC の信用力に基づいており、IFC が実施する融資案件に直接の影響を受けるものではありません。

ソーシャルボンド調達資金に関するキャッシュフロー図

ソーシャルボンドによる調達資金は、適格プロジェクトの融資部分のみに充当されます。

IFC は適格プロジェクトに対し、直接的または間接的な融資が可能です。



D. 報告

IFC は、ソーシャルボンド・プログラムのプロジェクトに関して、透明性のある報告を行うことを約束しており、報告に関するベスト・プラクティス、並びに、透明性と情報開示に関する ICMA の自主的な指針であるソーシャルボンド・ガイダンスに則って報告を行っています。

IFC は、プロジェクトがもたらす環境・社会への影響並びに期待される開発インパクト等、プロジェクトに関する適切な情報を投資案件ごとに開示しています。IFC が投融資する全プロジェクトに関する情報は <http://www.ifc.org/projects> よりご覧いただけます。

また、IFC の活動に関する情報開示については、AIP に準拠して実施しています。AIP は、定期的または要求に応じて一般公開される情報の範囲に関する IFC の方針を定めたものです。方針の全文は <http://www.ifc.org/aip> でご確認ください。

IFC は年 1 回のペースで、前年度にソーシャルボンド調達資金からの融資を受けたプロジェクト一覧を公表していきます。プロジェクト一覧には、守秘義務に基づく開示要件を満たしていることを条件として、プロジェクトの概略、コミットした金額及びプロジェクトに関連する公開文書へのリンクが掲載されています。

さらに、IFC は投資家の皆様向けに、社会的責任投資分野の債券に関するニュースレターを年 1 回のペースで発行し、プロジェクトの概要やニュース等を提供しています。

インクルーシブ・ビジネス・ボンドの概要

インクルーシブ・ビジネスの概要

インクルーシブ・ビジネスとは、貧困問題に取り組み、開発を促進させながら、それと同時に市場平均並みの収益率を確保するビジネスを展開する企業を指します。持続可能な開発を促進させるにあたり、とりわけ重要な役割を果たす取り組みとして G20 各国で認識されています。インクルーシブ・ビジネスでは、経済ピラミッドの下層部（BOP 層）で生活する人々をサプライヤー、小売業者、流通業者、消費者のいずれかとして自社のバリューチェーンに組み込みます。当該企業は、この取り組みを、採算性及び規模の拡大を達成できる主力事業として行っています。



BOP 層という考えは、貧困を所得（1 日 8 ドル相当未満）の観点だけでなく、商品やサービス、経済機会へのアクセスという観点も含む多角的視点を持つアプローチです。途上国 92 カ国で 45 億人の人々が世界の経済ピラミッドの下層部（BOP 層）で生活していると推定されています^{※5}。

BOP 層に属する人々は、経済的・社会的排除を経験することが多々あります。これらの人々は社会的弱者を代表し、他の人々が享受している価格や品質による生活必需品やサービスへのアクセスが欠如しています。スラム街に住む人々、農村地域の村民、小規模農家、非正規労働者または零細規模の起業家などがその代表例で、清潔な水、電力、舗装された道路、現代的な通信手段、保健医療、教育、金融サービス、消費財、安定した収入などを得られないケースが多々あります。

BOP 層の人々を企業の中核的バリューチェーンに組み込むことで、包摂的成長と持続的開発を促進する原動力とすることができます。BOP 層に属する 45 億人の個々の支出は小額ですが、総額は年間 5 兆米ドルに上り、途上国の総支出の半分以上に相当します。インクルーシブ・ビジネス企業は BOP 層の基本的欲求に応え、生産性を高め所得創出機会を提供し、そして BOP 層の人々に選択肢を提供することで、彼らの暮らしと福祉の向上を可能にします。

インクルーシブ・ビジネスアプローチを採用する企業の規模はさまざまで、地場企業から多国籍企業まで、多くの産業で見つけることができます。

^{※5} 世界銀行グループ Global Consumption Database へのリンク: <http://datatopics.worldbank.org/consumption/>.

インクルーシブ・ビジネスモデルの代表例



アグリビジネス及び林業

- ・ BOP層農家からの生産物調達
- ・ BOP層農家向けエネルギーの開発及び販売



教育

- ・ BOP層学生向け教育
- ・ BOP層学生向け資金援助
- ・ BOP層学生に便益となる商品開発



金融機関

- ・ BOP層借り手向けマイクロローンの提供
- ・ BOP層顧客向けマイクロ保険の提供
- ・ マイクロファイナンス、マイクロ保険、その他のインクルーシブ・ビジネス向けのファンド



保健医療

- ・ BOP層患者向け保健医療サービスの提供
- ・ BOP層顧客向け保健医療商品及び技術開発



住宅

- ・ BOP層顧客向け住宅開発
- ・ BOP層借り手向け住宅ローンの提供



情報通信技術（ICT）

- ・ BOP層顧客向け電気通信サービスの提供
- ・ BOP層顧客向け電子商取引プラットフォームの提供
- ・ 他のICT企業によるBOP層個人向けサービス提供の支援



小売り及び流通

- ・ BOP層顧客向け食糧、飲料、日用品の販売
- ・ BOP層小売業者を通じた食糧、飲料、日用品の販売
- ・ BOP層流通業者を通じた食糧、飲料、日用品の供給



公共サービス

- ・ BOP層顧客向け水道・電力・ガス供給、下水道サービスの提供
- ・ BOP層顧客向け地域密着型オフグリッドシステム

インクルーシブ・ビジネス・ボンド発行プログラム（2015～2016 年度）

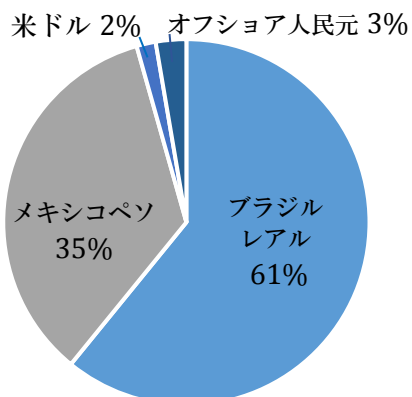
IFC のインクルーシブ・ビジネス・ボンド・プログラムは、途上国の BOP 層を自社のビジネスに組み込んだ企業に対する民間セクター投資を支援するため、機関投資家及び個人投資家から資金を調達してきました。本プログラムは2014年10月に開始し、初の債券は日本の個人投資家向けに販売され、1億440万米ドル相当額を調達しました。インクルーシブ・ビジネス・ボンドは4カ国通貨建てで発行され、米ドル建て以外の債務はすべて米ドルにスワップされ、IFC のインクルーシブ・ビジネス関連顧客向け融資を支援しています^{※6}。

インクルーシブ・ビジネス・ボンド発行

累計発行額

通貨	金額	発行日	償還日	米ドル相当額	クーポン
ブラジルレアル	260,000,000	2014/10/29	2018/10/25	104,358,995	固定
メキシコペソ	1,500,000,00	2014/12/22	2019/12/20	102,883,000	固定
米ドル	5,000,000	2015/3/3	2020/3/3	5,000,000	変動
オフショア人民元	50,000,000	2015/3/13	2018/3/13	7,973,464	固定
ブラジルレアル	300,000,000	2016/3/14	2019/3/12	75,891,728	固定
合計				296,107,187	

通貨別累計発行額



^{※6} IFC は米ドルを基準とする組織で、非ドル建て債務の大半は米ドル変動金利資金にスワップされ、IFC の貸出資金として利用されます。

インクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金の使途に関する報告

IFC によるコミットメントには、IFC 及び他のプロジェクトスポンサーが法的拘束力を有する契約を締結した融資が含まれています。このうち、IFC の自己勘定によるインクルーシブ・ビジネス向けコミットメントのみが、適格と判断されます^{※7}。融資実行額とは、インクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金より顧客へ供与される資金のことであり、コミットメントの最終承認後に実施されます。

以下の図表は、2015～2016 年度における産業別及び地域別コミットメント並びに調達資金からの融資実行額の内訳を示したものです。

インクルーシブ・ビジネス適格コミットメント

2015～2016 年度のインクルーシブ・ビジネス向けコミットメント総額は、21 億米ドル以上に達しました。

産業別コミットメント

百万米ドル	2015 年度	2016 年度
金融市場	806.3	659.3
通信、メディア、テクノロジー	-	255.1
アグリビジネス及び林業	47.5	152.6
保健医療、教育、ライフサイエンス	38.0	120.0
製造業	-	1.7
その他	47.8	41.7
合計	939.5	1,230.4

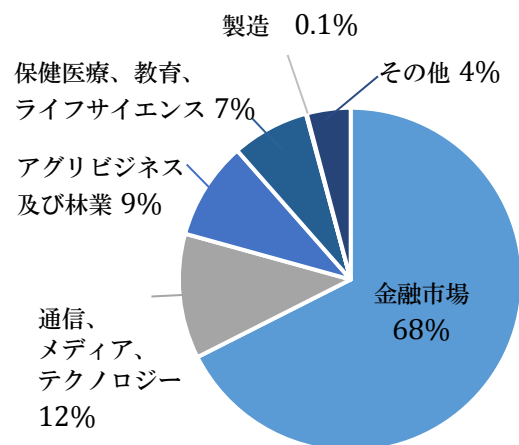
地域別コミットメント

百万米ドル	2015 年度	2016 年度
東アジア・大洋州	426.5	305.7
南アジア	222.9	279.3
ラテンアメリカ・カリブ海	184.8	331.7
サブサハラ・アフリカ	45.5	149.0
欧州・中央アジア	57.8	151.6
中東・北アフリカ	2.00	9.0
多地域	-	4.1
合計	939.5	1,230.4

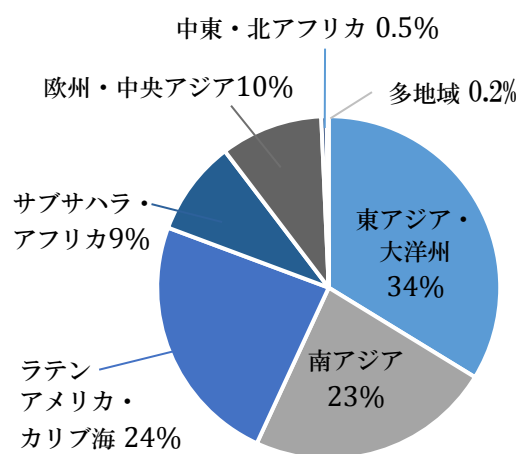
注：四捨五入により合計と内訳が一致しないことがあります。

^{※7} 本分析は、IFC によるインクルーシブ・ビジネス向けコミットメント及び融資実行額（これらの中には融資以外の投資商品も含まれています）のすべてを対象とするものではありません。IFC のインクルーシブ・ビジネスに関する詳細情報は次のサイトをご参照ください。ifc.org/inclusivebusiness.

産業別コミットメント
(2015～2016年度)



地域別コミットメント
(2015～2016年度)



インクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金による融資実行額

2015～2016 年度に、インクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金により融資を受けた適格プロジェクトは全 13 件、総額 2 億 9,800 万米ドルに達しました。

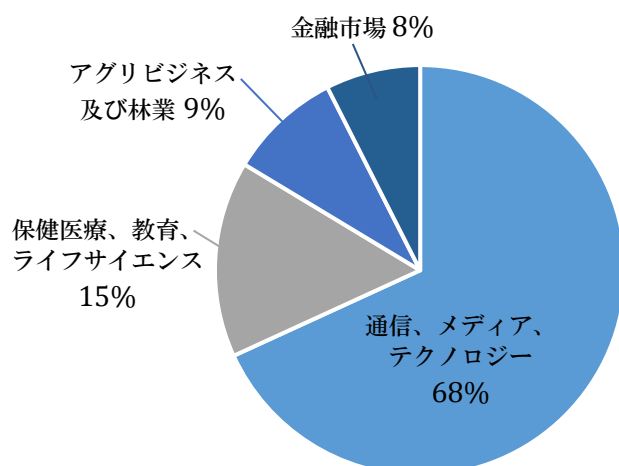
調達資金による融資実行額（産業別）

百万米ドル	2015 年度	2016 年度
通信、メディア、テクノロジー	30.0	173.0
保健医療、教育、ライフサイエンス	10.5	35.6
アグリビジネス及び林業	4.0	22.5
金融市場	14.3	8.0
合計	58.8	239.1

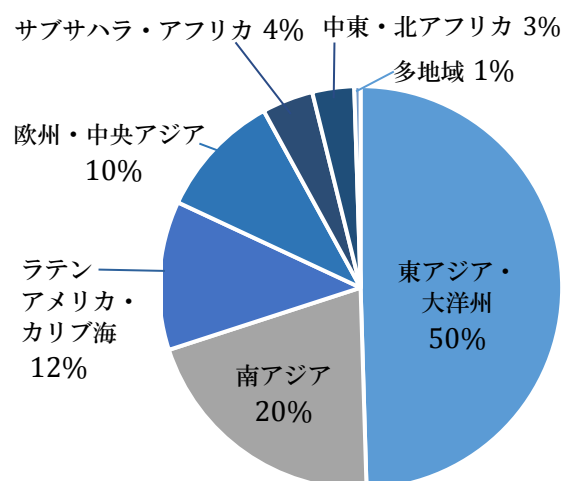
調達資金による融資実行額（地域別）

百万米ドル	2015 年度	2016 年度
東アジア・大洋州	20.5	127.0
南アジア	-	61.0
ラテンアメリカ・カリブ海	-	35.6
欧州・中央アジア	30.0	-
サブサハラ・アフリカ	6.3	6.0
中東・北アフリカ	2.0	8.0
多地域	-	1.50
合計	58.8	239.1

調達資金による融資実行額（産業別）
(2015年度～2016年度)



調達資金による融資実行額（地域別）
(2015年度～2016年度)



インクルーシブ・ビジネス・ボンドのプロジェクト概要

インクルーシブ・ビジネス・ボンドの資金供与の対象となるのは、発展途上国の BOP 層の人々とビジネスを行う企業です。これらの企業は、農家、患者、学生、マイクロ・ローンの借り手、零細規模の小売り事業者、消費者等を含む貧困層に直接影響を与える存在です。

IFC は、各融資案件の結果をモニタリングするため、開発結果追跡調査システム（DOTS）を使用しています^{※8}。このシステムにより IFC は、標準化されたデータを顧客から収集し、資金の使用状況や開発成果を把握することが可能です。各産業に特有な指標例及び目標とするインパクトの総計は、以下のプロジェクト概要一覧に表示されています^{※9}。IFC は、各プロジェクトが終了するまでの期間全体を通じ、これらの指標を追跡しています。

本レポートに示される目標値は、プロジェクトへのコミットメント開始前に算定されており、期待される成果を示したものです^{※10}。

以下のプロジェクト概要一覧は、2015 年度及び 2016 年度にインクルーシブ・ビジネス・ボンド調達資金が、必要資金の全額または一部に対して充当されたプロジェクトの期待される開発インパクトを示したものです。プロジェクトは産業別に分類されています。

プロジェクト概要一覧

アグリビジネス及び林業				
国名	組織名	プロジェクト概要	融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
インド	Lucid Colloids	Lucid Colloids 社は、グァーガム（増粘剤や安定剤として食品及び工業製品に用いられる）のインド最大の生産者。グァーをインドの小規模農家から調達すると共に、技術的支援を提供し、当該小規模農家の生産性と収入の向上を後押しする。本プロジェクトは、研究開発施設を設立し、さらにグジャラート州及びラージャスターン州に工場を新設し、乾燥地域及び半乾燥地域の農家への支援を拡大させることを通じて、同社の能力を拡張させる。	15.0	34335
ルワンダ	AIFHBV (Africa Improved Foods)	Africa Improved Foods は、ルワンダで栄養強化した混合食糧を生産する加工工場建設に関する合弁事業。当該工場の製品は会社等の顧客だけでなく、現地市場及び国際市場向けにも販売され、栄養失調の予防・治療を支援する。支援の対象にはおよそ 70 万人の子供も含まれる。当該工場では、小規模農家から原料を調達することにより、農村地域における追加的収益獲得の機会を提供する。	7.0	37492/37493 (詳細は親プロジェクト 34396 を参照のこと)

^{※8} 詳細は www.ifc.org/developmentimpact をご参照ください。

^{※9} インパクトの総計には、影響の測定に当たり別指標を用いるプロジェクトの数値は含まれないことがあります。

^{※10} 目標値の達成期限はプロジェクトごとに異なります。プロジェクト概要一覧では、プロジェクト間の差異を考慮し、目標年数のレンジを設定しています。

IFC ソーシャルボンドの概要／インパクト・レポート

ウガンダ	Pearl Dairy	Pearl Dairy 社は、ウガンダ国内第2位の牛乳加工工場を運営し、主に粉乳とバターオイルを生産している。同社は遠隔地の小規模酪農家からの牛乳の集荷を促進するため、集乳センターと冷蔵倉庫を建設し酪農家に市場機会を提供する。本プロジェクトによって同社の牛乳加工工場の運営を支援する。	4.0	33405
リベリア	Wienco Liberia	Wienco 社は、カカオ栽培に用いる肥料並びに作物保護製品の輸入・販売及び小規模農家からの乾燥カカオ豆の買い付け・輸出を行っている。同社は農民組合と提携して農家向けに研修、手頃な価格での投入物、長期融資を提供している。本プロジェクトは、設備投資用資金及び農業生産に必要な投入物の調達用資金を提供し、農家の収入を160%増加させることが期待されている。	2.5	36357
インパクトの基準値（ベースライン）：			支援を受ける農家の数 55,500 軒	
インパクトの目標値（2018～2020 年）：			支援を受ける農家の数 122,500 軒	

通信、メディア、テクノロジー				
国名	組織名	プロジェクト概要	融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
タジキスタン	Indigo Tajik (TCCell)	TCCell 社は、タジキスタン初かつ最大の移動体通信事業者。2G ネットワークでは人口の94%、3G ネットワークでは人口の45%を対象にサービス提供している。本プロジェクトにより同社は、特に人口が少ない遠隔地において、ネットワークの強化とサービス提供範囲の拡大を実行し、移動体通信サービスの利便性向上と低価格化の実現を目指す。	30.0	34211
バングラデシュ	Robi Axiata	Robi 社は、バングラデシュを代表する移動体通信事業者であり、30 万か所の販売拠点を有する。同社は生命保険、mAgri（モバイルを活用した農業関連サービス）、e-ラーニング、電子マネー等、低所得者の要求に応える革新的なサービスを提供している。本プロジェクトにより、同社の3G ネットワークを強化し、農村地域でのサービス拡大を支援する。	66.0	36136

IFC ソーシャルボンドの概要／インパクト・レポート

ミャンマー	Ooredoo Myanmar	ミャンマーの通信市場開放を受け、Ooredoo 社は、2014 年に国内向け移動体通信サービス事業者としての認可を取得。認可前は、ミャンマーで携帯電話を所有しているのはわずか 10 人に 1 人だった。同社は当初、68 の都市で事業を開始し、現在ではミャンマー人口の半数以上を対象にサービス提供している。本プロジェクトは、ミャンマーにおける同社の 3G ネットワークの水平展開を促進し、認可費用、運営費用の助成を行う。同社はまた、国内全域に販売網を有する中小企業及び地場企業との代理店契約締結を目指している。	150.0	34170
インパクトの基準値（ベースライン）：			通信回線にアクセスできる顧客数 2,710 万人	
インパクトの目標値（2018 年）：			通信回線にアクセスできる顧客数 4,981 万人	

保健医療、教育、ライフサイエンス				
国名	組織名	プロジェクト概要	融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
ラオス	Essilor Lao	Essilor 社は、処方レンズの世界的主要メーカーであり、12 カ国に 22 の製造施設を持つ。同社はインド、中国、ブラジルにおいて、BOP 顧客向けサービスを提供する流通モデルを開拓した。この革新的なモデルにより 2015 年、100 万人の人が初めて眼鏡を手にすることができた ^{※11} 。本プロジェクトは、ラオス人民民主共和国におけるポリカーボネート製眼鏡レンズ（対衝撃性に優れており、特に子供の使用に適している）用の新規製造施設の設立及び運営を通じて、同社の世界的な事業展開を支援する。	10.5	32557
ブラジル	Mauricio	Mauricio 社は、ブラジルで最大規模の民間教育グループであり、主に低所得層の学生を対象とし、25 都市の 37 か所において、大学教育、大学院教育、職業訓練、遠隔教育の課程を提供している。本プロジェクトは、遠隔教育の刷新・習得・導入を通じて、また北東部の都市アラカジュとフォルタレザに新校舎を設置することにより同社の業務拡大を支援する。	40.0	32648
インパクトの基準値（ベースライン）：			治療を受けた患者数/教育を受けた学生数 34,073 人	
インパクトの目標値（2017～2018 年）：			治療を受けた患者数/教育を受けた学生数 5,103,500 人	

※11 典拠：Essilor 社 2015～2016 年度アニュアルレポート。以下の URL より入手可能です。
http://annualreport.essilor.com/essilor-content/uploads/2016/05/ESSILOR_Annual_Report_2015_EN_.pdf

金融市場				
国名	組織名	プロジェクト概要	融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
レバノン	Al-Majmoua	Al-Majmoua は、レバノンを代表するマイクロファイナンス機関で、現行の顧客数 4 万 6,000 人のうち 52%は女性。本プロジェクトにより、Al-Majmoua の融資ポートフォリオの成長と、低所得の零細起業家（特に女性）向け支援のさらなる拡大が期待されている。	3.0	33931
ルワンダ	KCB Rwanda	KCB Bank Rwanda は、ルワンダを代表する民間銀行。本プロジェクトは、同国に建設される栄養食品加工工場（上記 Africa Improved Foods 参照のこと）向けにトウモロコシと大豆を供給する東ルワンダの農業共同組合に対する KCB からの支援を可能にする。農家は供与資金を農業生産に必要な投入物費用（種子、肥料）、作付け前の農地の準備、除草及び収穫等、農業運転資金として使用する。	2.25	35378 （詳細は親プロジェクト 34396 を参照のこと）
カンボジア	Prasac MFI	Prasac は、カンボジア最大のマイクロファイナンス機関で、融資、預金、ATM、インターネットバンキング、現地通貨の送金、両替、給与振込、請求書支払い、プリペイド式携帯電話の追加チャージサービスを提供。Prasac から借入れを行っている 20 万人の顧客の約 85%は女性。本プロジェクトは、農村地域及び農業分野の零細・中小企業への融資拡大を可能にする。	10.0	36280
チュニジア	ENDA Tamweel (前 ENDA Inter-Arabe)	ENDA は、チュニジア最大のマイクロファイナンス機関で、79 の支店を通じ 27 万人の顧客にサービスを提供しており、この中の 65%は女性。同社の平均融資額は 1,625 米ドル。同社は研修や金融教育等信用供与以外のサービス分野にも業務を拡大している。本プロジェクトは、ENDA による零細及び小規模企業向け金融サービスへのアクセス拡大を支援する。	8.0	35267
インパクトの基準値（ベースライン）：			マイクロ・ローン件数 418,455 件	
インパクトの目標値（2017～2021 年）：			マイクロ・ローン件数 663,785 件	

女性起業家支援のための債券の概要

女性起業家支援プログラムの概要

女性起業家は、世界経済の様相に変化をもたらし、持続的な雇用創出と経済成長を促しています。世界中で事業登録されている企業の中で、女性が経営する企業は 30%を超えると推定されています。しかし、自社の成長に必要な資金にアクセスできる女性起業家の割合は、平均で 10%程度に過ぎません。市場におけるこのような著しいギャップに対し、新興市場の多くの金融機関が持続可能な戦略を展開出来ていないという事実は、民間セクターの開発における機会の喪失と諸制約を示しています。

IFC の BOW プログラムは、IFC のパートナー及び金融機関が女性の経営する企業に対して、収益性が高く持続可能なサービスの提供を支援するための触媒としての役割を果たしています。2016 年 6 月末の時点において、IFC は累計で 11 億 3,000 万米ドルのコミットメントを行っています。このポートフォリオは、金融機関を通じ女性が経営する中小企業（SME）へ転貸されるものに特化し、IFC の自己勘定によるものが 6 億 2,000 万米ドル、協調融資先からの資金動員によるものが 5 億 1,000 万米ドルとなっています。



BOW の助言プロジェクトも同様に力強い成長を示しており、女性顧客向けの進取的なプログラムを設立したプロジェクト顧客もあります。開始以来、完了したものも含めて合計で 26 件の BOW 助言プロジェクトが実施されており、サブサハラ・アフリカ地域 8 件、東アジア・大洋州 6 件、中東・北アフリカ地域 5 件、南

アジア 3 件、ラテンアメリカ・カリブ海地域 2 件が含まれます。2016 年 6 月時点で全 15 件の助言プロジェクトが実施されており、合計金額は 850 万米ドル、平均金額は 57 万米ドルです。これらのプロジェクトの目的は、金融機関が、女性が経営する SME の分野を事業機会として捉え、女性顧客向けの戦略及び価値提案の策定を支援することです。

女性起業家支援のための債券発行プログラム（2014～2016 年度）

金融機関が女性の経営する企業向けに収益性が高く持続可能なサービス提供を支援するため、IFC は 2013 年に BOW 債券プログラムを立ち上げ、より多くの投資をひきつけてきました。IFC の BOW 債券による調達資金はすべて、BOW プログラムに適合したプロジェクト向け融資専用に設けた特別勘定に移されます。これまで BOW 債券は 3 カ国通貨建てで 2 回に亘り発行され、米ドルにスワップしました。調達額は合計 2 億 6,800 万米ドルになります。



累計発行額

通貨	金額	発行日	満期日	米ドル相当額	クーポン
オーストラリアドル	86,100,000	2013/11/21	2018/11/20	81,450,600	固定
トルコリラ	163,700,000	2013/11/21	2018/11/20	81,039,604	固定
ブラジルリアル	236,000,000	2014/8/4	2018/7/26	105,498,435	固定
合計				267,988,639	

女性起業家支援のための債券による調達資金の使途に関する報告

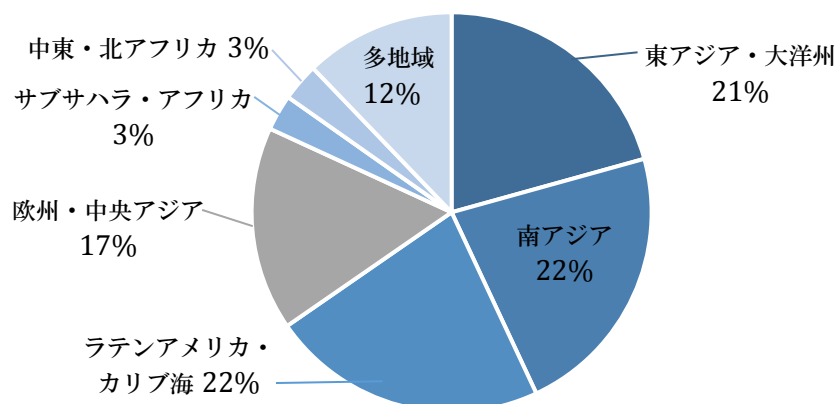
IFC によるコミットメントには、IFC が法的拘束力を有する契約を締結した投融資が含まれています。BOW プログラムに対する融資コミットメントのみが、適格と判断されます。融資実行額とは、BOW 債券調達資金から顧客へ供与される資金のことであり、コミットメントの最終承認後に実施されます。

BOW プログラム適格コミットメント

2016 年 6 月 30 日現在、IFC の BOW 債券プログラムの下で、BOW プログラムに参加している金融機関を対象とする適格プロジェクトは全 16 件で、合計 2 億 4,620 万米ドルをコミットしています。以下の図表は、2014～2016 年度における地域別適格コミットメントの内訳を示したものです。

地域別コミットメント

百万米ドル	2014 年度	2015 年度	2016 年度
東アジア・大洋州	-	18.8	32.2
南アジア	5.0	-	50.0
ラテンアメリカ・カリブ海	15.0	10.0	30.0
欧州・中央アジア	13.0	27.6	-
サブサハラ・アフリカ	-	-	7.1
中東・北アフリカ	-	-	7.5
多地域	-	-	30.0
合計	33.0	56.3	156.8



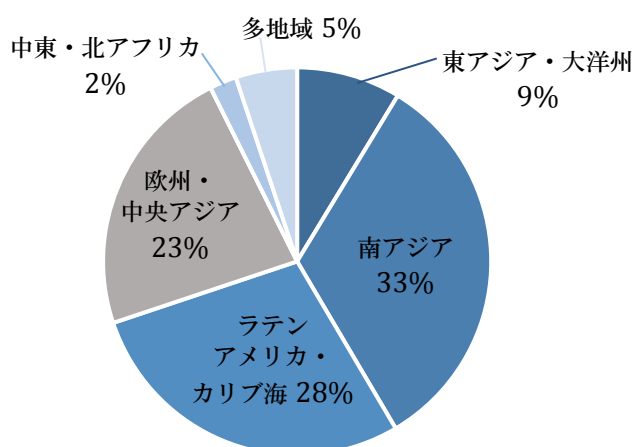
女性起業家支援のための債券による調達資金の融資実行額

コミットした全 16 件のプロジェクトの中で、14 件に対して融資が実行され、合計融資額は 1 億 6,750 百万米ドルに達しました。地域ごとの年度別融資実行額は以下の通りです。

調達資金の地域別融資実行額

百万米ドル	2014 年度	2015 年度	2016 年度
東アジア・大洋州	-	1.6	13.0
南アジア	5.0	-	50.0
ラテンアメリカ・カリブ海	10.0	10.0	27.5
欧州・中央アジア	12.0	26.2	-
サブサハラ・アフリカ	-	-	-
中東・北アフリカ	-	-	3.8
多地域	-	-	8.6
合計	27.0	37.7	102.8

注：四捨五入の影響により合計と内訳が一致しないことがあります。



女性起業家支援のための債券のプロジェクト概要

IFC では、各投資案件の資金の使用状況と開発成果をモニタリングするため、インクルーシブ・ビジネスプロジェクトと同様に、DOTS を使用しています。各産業に特有な指標として、女性が経営する SME に対するローン件数等があります。BOW 債券プロジェクトが目標とするインパクトの総計は、以下のプロジェクト概要一覧に表示されています。

以下のプロジェクト概要一覧は、BOW 債券調達資金が必要資金の全額または一部に対して充当されたプロジェクトの期待される開発インパクトについて、コミットメント前に算定したものを表示しています。

プロジェクト概要一覧

国名	組織名	プロジェクト概要	適格融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
カンボジア	ACLEDA Bank	本件は、最大 2 億 1,000 万米ドルのシニアローンで構成され、このうち 9,000 万米ドルが、女性が経営する SME 向け融資に割り当てられる。本件は、ACLEDA の SME 向け融資事業の成長支援に加え、同国経済において重要な役割を果たし、国内の雇用創出に貢献している女性起業家向けの支援拡大を目的とする。	28.4	37594
モンゴル	SEF XacBank	本件は、モンゴル国内での金融サービスへのアクセスの促進及び XacBank の資金調達増強を図るため、最大 1,500 万米ドルの IFC A ローン及び最大 9,000 万米ドルの IFC B ローンまたはパラレルローンを含む XacBank へのシンジケートローン融資枠を含む。	3.8	37610
ヨルダン川西岸・ガザ地区	Bank of Palestine	本プロジェクトは、ヨルダン川西岸・ガザ地区最大の公営銀行 Bank of Palestine 向けに、期間 10 年、最大 5,000 万米ドルの劣後債務を供与し、これにより同行の SME 及び女性向け金融・銀行サービスへのアクセス拡大を支援する。	7.5	37270
インド	Yes Bank	本プロジェクトは、女性が経営する中小企業向け転貸を目的とする長期融資枠から成る。	50.0	37471
グローバル	WED Fund	本プロジェクトは、金融へのアクセスに関して、新興市場で女性が経営する SME が直面する困難に対処することを目的とする。新興市場において、女性が経営する SME 向けのポートフォリオ拡充に取り組む民間銀行に対し、優先債務を供与する。	30.0	36082
エクアドル	Banco Pichincha	IFC の共同投資及び助言業務戦略の一環として、IFC は気候変動対策プロジェクト及び SME の成長支援を目的とする Banco Pichincha 向けシニアローンを供与する。	5.0	37502

IFC ソーシャルボンドの概要／インパクト・レポート

国名	組織名	プロジェクト概要	適格融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
ケニア	Cooperative Bank	IFC は、Cooperative Bank に対し、最大 1 億 500 万米ドルのシニアローンを提供する。その目的は、(i) 女性が経営する企業を含む SME 及び協同組合向けの融資拡大の支援、並びに、(ii) 住宅ローン及び建築融資の拡充を通じ、手頃な価格帯の住宅供給の促進、である。	7.1	35393
チリ	Banco Itau Corpbanca	本プロジェクトは、チリの SME 及び女性が経営する SME 向けの融資業務を支援する目的で、IFC による Banco Itau Corpbanca Chile 向け期間 5 年、最大 1 億米ドルの融資、並びに、IFC の B ローンプログラムに基づく期間 3 年、最大 1 億米ドルの協調融資から成る。	25.0	36700
エクアドル	Banco Internacional	本プロジェクトは、エクアドルの Banco Internacional と提携し、シニアローンを通じて、同行の SME 向け、とりわけ女性が経営する企業向け融資ポートフォリオの拡充を支援する。	10.0	35525
インドネシア	BTPN	「BTPN」は中規模の商業銀行。本プロジェクトは、インドネシアにおける IFC のインクルージョン・アジェンダの一部であり、インドネシア・ルピアによる融資を通じて (i) 同行の零細・小規模企業向け融資業務を拡大させ、同行の子会社である BTPN Syariah の BOP 層女性起業家を対象とした「生産性の高い貧困層」事業ラインの拡大を図り、(ii) 長期融資パッケージにより、資産・負債のミスマッチを削減し調達基盤の強化を図る。	18.8	34329
ルーマニア	Garanti Bank	本プロジェクトは、零細・中小企業向けの転貸を目的とし、IFC の既存顧客 Garanti Bank S.A. Romania に対し、最大 3,500 万ユーロのシニアローンを提供する。このうち、2,000 万ユーロが女性の経営する MSME への転貸に充てられる。本プロジェクトの資金の大部分はジェンダー金融に割り当てられ、IFC の優先分野である SME への資金供与を通じたプラス効果により、CSE 及びルーマニアにおける IFC の金融市場戦略を支援する。	27.6	34605
キルギス共和国	Bai Tushum Bank	本プロジェクトは、Bai Tushum と IFC の間の 3 件目の取引であり、IFC は同行との投融資関係を強化し、同行の戦略である女性が経営する企業を含む SME 向け融資業務の拡大を支援することを目指している。	1.0	33030

IFC ソーシャルボンドの概要／インパクト・レポート

国名	組織名	プロジェクト概要	適格融資 コミットメント (百万米ドル)	プロジェクト ID
インド	YES Bank	YES Bank は、2004 年に設立されたインドで 4 番目の規模を誇る民間銀行であり、2013 年度実績で 180 億米ドルの資産規模を有する。同行は成長著しい民間銀行のひとつであり、SME 及びリテールポートフォリオの多様化・拡大を図っており、現時点で同行の融資残高の 36%を占めている。同行は戦略の一環として、今後 5 年間で SME 向けの比率を 50%まで拡大することを目指している。	5.0	34478
ロシア	TransCapital Bank	IFC は、CJSC Transcapitalbank に対し、最大 5,000 万米ドル（上限 5 年）のシニアローンを提供する。IFC からの調達資金は、SME 及び法人顧客向けの転貸に充てられ、エネルギー効率を高める適格プロジェクト及び／または、女性が経営または所有する SME の支援に振り向けられる。	12.0	33690
チリ	Banco Internacional	本プロジェクトは、Banco Internacional によるアグリビジネス事業部門の設立を支援することで、SME に特化したアグリビジネスのポートフォリオを構築し、IFC にとって優先度の高い女性が経営する SME に対するポートフォリオの発展を支援する。	15.0	33272
インパクトの基準値（ベースライン）：			女性が経営する SME に対する ローン件数 61,455 件	
インパクトの目標値（2018～2020 年）：			女性が経営する SME に対する ローン件数 109,798 件	

免責条項

本レポートは情報提供のみを目的として作成され、本レポートに含まれる情報は要約されたもの、または不完全なものである場合があります。IFC は、本レポートに含まれる情報の正確性や完全性に関して、いかなる保証および表明も行うものではありません。また、IFC はこれらの情報を更新する義務を一切負いません。本レポートは目論見書ではなく、IFC が発行するいかなる債券についても評価基準を提供するものではありません。また、本レポート内に記述のあるいかなる商品やサービスについて予約または購入を勧誘または提供するものではありません。いかなる状況においても、IFC またはその関係機関は、本レポートの情報の使用に起因するいかなる損失、損害、負債、費用に対しても責任を負いません。これには直接的損害、間接的損害、特別損害、派生的損害を含み、それらに限らず、たとえそのような損害の可能性について IFC が報告を受けていた場合を含め、いかなる状況においても、IFC 及び IFC の関係機関は責任を負いません。IFC に関するより詳しい情報は、IFC のウェブサイト www.ifc.org/investors より、最新版「インフォメーション・ステートメント」、財務諸表、その他関連情報を参照してください。